

「メガネは頼りになる相棒」

うえはら ゆきお
走れメガネ屋さん 上原 由貴雄



TEL: 090-3894-4731

営業内容: メガネと補聴器の訪問サービス

眼鏡の大手全国チェーン店で転勤を繰り返して、私が最後に選んだのが「加古川」。それから33年、本当にこの地を選んで良かったと思います。しかも、その加古川で個人事業主としてスタートするなんてサラリーマン時代には想像もしていなかった。

45年間、眼鏡業界でサラリーマンとして勤め、順調に職位も上がって行き、このまま普通に定年を迎えられると思いきや慢性関節リウマチを発症。しかし、偶然にもリウマチ専門の病院が車で15分の場所

にあり、先生や看護師、ヘルパーさんの懸命の治療とオペを繰り返して、今では見た目に分からないくらい治りました。本当に感謝です。

助けてもらったこの命にどう恩返しすべきかと考え、たどり着いた答えは、やはり長年携わってきた「メガネ」で恩返しすることでした。

サラリーマン時代の最後は、訪問部門に就いていて、年齢的にも志半ばで終わろうとしていました。既に多くのお客様宅に行かせてもらい、仕事として以上に、店内販売では得られない満足感、そして感謝の気持ちを得られ、満足に働けるまで戻ったこの身体と命を、目の見え方に困っている方々に尽くしたい。その思いが「メガネ、補聴器の訪問サービス」という形になりました。独立して3年。今や、兵庫に留まらず北陸や東京、岡山など県外からも依頼が入るようになり、毎日忙しくて嬉しい悲鳴が続いています。

さて、そんな私のメガネへの想いは強いだけでなく、少し変わっておりまして（汗）。今、使用中のメガネを使い、目の前で説明しながらメガネを修正していき、アナログ技術のみでズレないように調節します。もちろん、ズレがないと好影響が続きます。

少しか説明しましょう。①角膜とレンズ裏面まで12ミリ。②レンズの角度は下向き5度。③ソリ角（顔に沿う



ライブ配信を行う上原さん

ようにカーブ）5度くらい。レンズ度数は、これらの数値を基準として設計されています。したがって、フィッティングでこの基準に合わせないと見え方が変わるかもという事です。

この私のメガネへの強い想いは講演にも結びつき、講演会ではメガネ装用者が実は『得だらけ』であることをお伝えしています。①有害な紫外線をカットできること。②目をゴミや異物から守れること。③装いとして楽しめること。④掛けたままで遠くも近くも見やすく、若々しい印象を保てること。そして、全く違う切り口からの「似合うメガネ」の考え方にまで。私のメガネ活動の根底には「誤解と思い込みの打破」という信条があります。